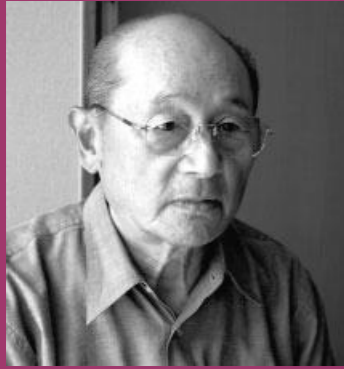


避難場所マップ



田淵 守さん
(76歳・牛窓町牛窓)

平成16年の台風16号で、床上1m35cmという水害におそわれました。もうあんな経験はしたくはありません。いつ起こるか分からない災害を甘くみてはいけません。日ごろから、必要な物を袋に詰めて、準備しておく必要があります。

この避難場所は、高潮・地震・津波・土砂崩れなど、災害の種類により、避難が適さない場所があります。

詳しくは、市地域安全推進室(☎0869-22-3904)にお尋ねください。

避難場所マップは、市ホームページにも掲載しています。また台風や地震などの災害が起きた時に、災害情報をメールマガジンで配信します。以下のアドレス・QRコードから登録できますので、事前にご登録ください。



<http://www.city.setouchi.lg.jp/i/magazine.html>



柴田健志さん
(40歳・市消防団牛窓副分団長)

非常持ち出し袋を家庭に常備しておくことは、絶対に必要です。もしも災害が起こったらを想定して、日ごろから家庭で話し合いを。連絡のとれない時の集合場所を、家族で決めておくことも大事なことです。また、土のうなどの備蓄も用意しておくとう安心です。



雪上 清さん
(68歳・長船町西須恵)

昭和51年災害と平成2年災害と家が浸水し、水の恐さを経験しました。水害に遭った時は、近所や地域の人たちに助けられました。災害はいつ起こるか分かりません。もしも災害が起こりそうな時は、行政からの早い対処や正確な情報提供を望んでいます。